



<フィリピン・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

2024年3月15日

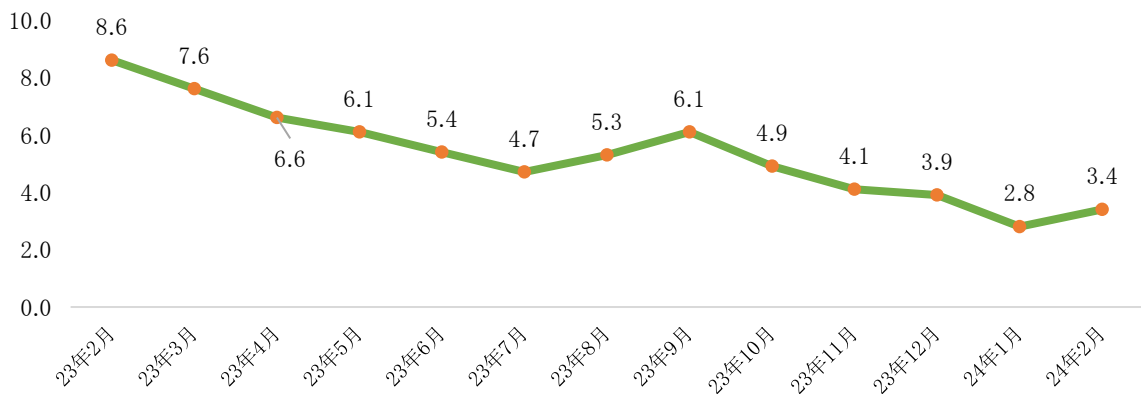
フィリピンの2024年2月の消費者物価指数 (CPI)

フィリピン統計局(PSA)によると、2024年2月の消費者物価指数(CPI、2018=100)は前年同月比+3.4%となり、前月の同+2.8%に比べて上昇したが、1年前の同+8.6%から大幅に低下、2023年12月の同+3.9%に比べても低下した水準にある。2024年1~2月期のCPIは前年同期比+3.1%で、政府の目標レンジ(+2~4%)にしっかり収まっている。食品とエネルギーを除くコアインフレ率は1月の前年同月比+3.8%から2月には同+3.6%へと鈍化した。なお、2023年2月のコアインフレ率は同+7.8%であった。

2月のCPI上昇率の高まりの背景としては、食品・非アルコール飲料が12月の前年同月比+5.4%から1月には同+3.5%へと鈍化した。2月には同+4.6%へと上昇に転じたことが挙げられる。運輸も12月の同+0.4%、1月の同-0.3%から2月には同+1.2%へと上昇に転じた。

財務省(DOF)は、商品とサービスのインフレ抑制のために「新興インフレを今すぐ削減(REIN)」計画による脆弱なセクターへの財政援助プログラムなどを実施している。さらに、フィリピン国民の購買力を高めるために「インフレ・市場見通しに関する省庁間委員会 (IAC-IMO)」が昨年3月に創設されており、様々な価格を定期的に監視するほか、農業生産の向上対策、近隣国との貿易協定に基づくコメ輸入の確保(ベトナムとは年間150~200万トンのコメを今後5年間手ごろな価格で同国から輸入することで合意)などの取り組みをタイムリーに進めている。

消費者物価指数上昇率 (対前年同月比 ; %)



出所：フィリピン統計局(PSA)、ブルームバーグ

以上

免責事項

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセット マネジメント株式会社 (CAM) が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。